

食コミュニケーション論特論（選択・講義1単位）[教職（家庭）必修] 衛 藤 久 美

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：本授業のテーマは、食を通したコミュニケーションのあり方について考えることである。従来の栄養学における視点とコミュニケーションにおける視点を融合させ、人々の食生活を捉えることができることを到達目標とする。本授業は、DPの「栄養学の幅広い視野に立って精深な学識を有する」ことの達成に関連する。

授業の概要：食を通したコミュニケーションのあり方について、共食・孤食及び食歴（ひとりひとりの食生活の歴史）を例に理解を深める。共食・孤食については、これまでの国内外の研究動向に関する講義を行った上で、授業内容に関連するテーマについてディスカッションを行う。食歴については、関連する内容について講義を行った後に食歴に関するワークショップを行い、過去・現在・将来の食生活のつながりへの理解を深める。最終回には、あらかじめ指定した課題について発表し、ディスカッションを行う。

【授業計画】

- ① 食生活とコミュニケーション
- ② 共食・孤食に関する研究動向①
- ③ 共食・孤食に関する研究動向②
- ④ 食歴とは
- ⑤ 食歴ワークショップ
- ⑥ 食を通したコミュニケーション
- ⑦ 発表・ディスカッション及びまとめ

【授業外学習】

授業の配布資料、授業内で指定した資料や論文、参考資料として提示した資料等を精読し予習・復習する。授業内ディスカッションに備えて、自身の考えをまとめておく。授業時間の倍以上の自己学修を行うことが望ましい。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度（25%）、発表内容（25%）、レポート（50%）により、総合的に評価する。

【教科書】

特になし

【参考書】

足立 己幸／編 足立 己幸・衛藤 久美／著：共食と孤食—50年の食生態学研究から未来へ、女子栄養大学出版部（2023）

【教材】

必要に応じて授業時に配布する

【備考】

特になし